

2025年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【数学】【数学A】	2年	4単位	教科書	最新 数学A(数研出版)	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室 等	アクティブ（必修）・HR教室		
教科 ・ 科目 の 目標	(1) 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したしり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				
	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したしり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。			図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。			数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。										
評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト		「節」ごとに実施します。			50		50			
	授業態度・自主課題の提出		問題演習やレポート課題などの取り組み状況、自主的な課題提出							100	
	確認テスト・レポート課題		適宜実施し、その都度、理解度ははかります。			40		40			
	基礎基本演習		数学Aを受講する上で、既習事項を復習します。			10		10			
〔観点別配分％〕		〔3観点の比重を％で示しています〕									
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕			
								知・技 思・判・表 態度			
4 5	第1章 場合の数と確率	24	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 集合、集合の要素の個数、樹形図、和の法則、積の法則、順列円順列、重複順列			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
6 7	第1章 場合の数と確率	24	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 組合せ 第2節 確率 確率の基本的性質、和事象の確率、積事象の確率、余事象の確率			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
8 9	第1章 場合の数と確率	20	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 独立な試行の確率、反復試行の確率、条件付き確率、期待値			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
10 11	第2章 図形の性質	24	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 角の二等分線と比、外心・内心・重心、チェバ・メネラウスの定理 第2節 円の性質 円周角の定理、円に内接する四角形、円と接線、接線の作る角、方べきの定理、2つの円			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
12 1	第2章 図形の性質	20	第2章 図形の性質 第3節 作図 いろいろな作図 第4節 空間図形 多面体、オイラーの多面体定理など			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
2 3	第3章 数学と人間の活動	28	第3章 数学と人間の活動 1 約数と倍数 2 1次不定方程式 3 記数法			単元テスト		◎	◎		
						授業態度・自主課題の提出				◎	
						確認テスト・レポート課題		◎	○		
						基礎基本演習		○	○		
学習の アドバイス	・数学Aの基礎基本の定着を徹底します。 ⇒基礎基本の定着（知識・技能）なくしては、応用問題や入試問題（思考力・判断力・表現力）に対応できない。ゆえに、教科書レベルの内容の定着に特化します。 ・PT対策として、スタディサリの積極的な活用と授業での基礎基本演習の充実を図ります。取りこぼしなく、学習を進めていきましょう！！ ・数学は積み重ねの教科です。 家庭学習の習慣が必須となります 。授業では「理解」、家庭学習にて「定着」を心がけてください。										